

安来市政の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

あらゆる分野に影響を及ぼす人口減少への取組は、最も重要な課題であり、安来市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略を掲げ、以来、子育て支援の充実や雇用の場の創出、地域への愛着醸成などに取り組み、定住意識の向上を図っているところです。

今後、進んでいく切川地区の「新たなまちづくり」にも歩調を合わせながら、これまでの多角的な人口減少対策を一層推進し、効果的に取組を進めることが重要と考えております。島根県の力添えをいただきながら、社会基盤等の整備を進め、住民が豊かで安心できる持続可能な地域社会の構築を目指してまいります。

つきましては、本市の重点施策に関する要望事項を取りまとめましたので、事情をご賢察いただき、諸施策の実現に向けて特段のご配慮を頂きますようお願い申し上げます。

令和7年8月5日

安来市長 田中武夫

安来市議会議長 永田巳好

## 目 次

### 【重点要望項目】

新たなまちづくりに対する支援について	．．．．． 1
河川空間の環境整備に対する支援について	．．．．． 2
持続可能な農業の推進について	．．．．． 3
地域医療崩壊の危機を救う施策の早期実施について	．．．．． 4

### 【要望項目】

原子力発電所周辺自治体の安全確保対策について	．．．．． 5
安来インター線の早期完工等について	．．．．． 6
小さな拠点を支える県管理道の整備促進について	．．．．． 7
自転車歩行者道の整備について	．．．．． 8
県管理河川の改修促進について	．．．．． 9
企業立地の推進と雇用対策の強化について	．．．．． 10
広域観光及び外国人観光客誘致の推進について	．．．．． 11



## 新たなまちづくりに対する支援について

安来市切川地区において、安来市の新たな拠点の一つとして、都市計画、農業振興計画などの各種計画の改定を行い、具体的な地区計画の策定手続きを進めているところです。

また、計画の一役を担う周辺道路整備については、新規の事業化をはじめ、事業推進をいただいているところです。

これらは安来市及び中海・宍道湖圏域の産業振興を図る上で、大型車等の物流を支える交通基盤の整備・充実に加え、原子力災害対策重点区域における広域避難体制の確立にも寄与するものです。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



(1) スマートインターチェンジ周辺道路整備に対する支援

(2) (主) 安来木次線切川2工区の早期整備促進



(2) (主) 安来木次線切川2工区整備状況

## 河川空間の環境整備に対する支援について

安来市には、飯梨川や伯太川が中海に注ぐなど、良好な河川環境がありますが、中海沿岸域に多くの方が水辺に親しむ空間が乏しいため、中海沿岸の水辺空間を住民の憩いの場としての活用に向けて取り組んでいます。

この取組をさらに進めるため、中海ふれあい公園を中心とした整備を行い、憩いの場を充実させるとともに、さらなる地域活性化を図りたいと考えています。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



### (1) 中海ふれあい公園のかわまちづくり事業への支援

#### かわまちづくり事業（案）



かわまち計画予定位置図  
(安来市穂日島地区)



かわまち計画予定エリア

## 持続可能な農業の推進について

安来市内において、県営事業で農地中間管理機構関連農地整備事業、農業競争力強化農地整備事業、中山間地域農業農村総合整備事業を活用したほ場整備事業を実施中ではありますが、国に対して安定的な予算を確保するよう要望をお願いします。

また、能義第三地区においては実施計画作成に向けた早期の調査を要望します。



(農業競争力強化農地整備事業)



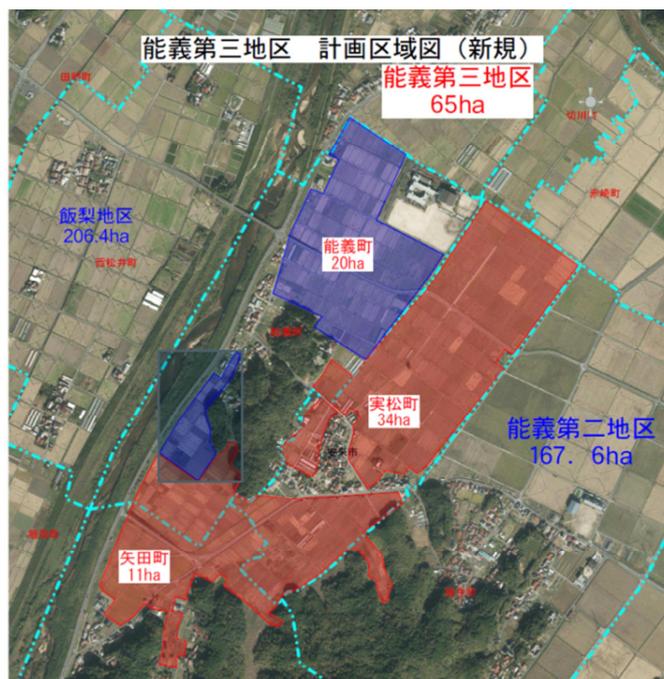
宇賀荘第三地区

(中山間地域農業農村総合整備事業)



木呂畑工区

(実施計画作成要望地区)



能義第三地区

## 地域医療崩壊の危機を救う施策の早期実施について

安来市内に所在する2つの病院は、救急告示病院、地域医療拠点病院としての指定を受け、救急医療及び地域医療を提供する役割を担っていますが、近年では、必要な医師の確保ができないことから、将来的に救急患者受入れ体制の縮小を余儀なくされ、在宅医療などによる医療資源の乏しい地域への医療提供も困難になることが危惧されています。

また、安来市においては、慢性的・複合的疾患を有する高齢者の患者が増加していることから、救急体制の確保や医療資源の乏しい地域への医療提供といった課題に加え、高齢者に多い疾患への対応についての必要性が高まっています。

こうした市内の医療体制の脆弱化の状況や市の人口減少、少子高齢化などの社会変化を見据え、将来にわたって持続可能な市の医療提供体制の確保に向け、現在、市内の2つの病院で、再編、統合も含め、一致した将来像を見いだすための協議を進めているところです。

つきましては、安来市の持続可能な医療提供体制確保に向け、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。

- (1) 高齢者に多い複合的な疾患への対応や在宅医療需要、救急医療対応など、幅広く総合的な医療に対応できる体制を整えるため、常勤の総合診療医の確保について支援を行っていただくこと。



- (2) 今後も増加が見込まれる高齢者に生じやすい傷病に対応するため、特に不足している常勤の整形外科医の確保について支援を行っていただくこと。
- (3) 安来市と市内社会医療法人は、持続可能な地域医療提供体制の構築を目指し協議を進めている。引き続き積極的な助言、指導等の支援を行っていただくこと。



## 原子力発電所周辺自治体の安全確保対策について

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所で発生した事故は、放射性物質の拡散によって重大な原子力災害をもたらし、国民の原子力発電に対する信頼を大きく損ないました。同様な事故が島根原子力発電所で発生した場合、周辺自治体である安来市も多大な原子力災害を被ることになるため、次の事項について強く要望します。



(1) 原子炉設置変更許可など重要な変更等が行われる場合に、周辺自治体の意見等を反映する新たな制度の構築について、引き続き国に強く要請すること。

(2) 広域避難計画について、複合災害時や感染症などへの対策、避難車両の確保や避難ルートの多重化など避難手段の確実な確保、住民への周知や理解促進など、「島根地域の緊急時対応」に基づく広域避難の実効性向上のため、引き続き防災訓練をはじめとする様々な取組を講じること。



(原子力防災訓練の様子)

(3) 使用済み核燃料については、発生者責任の原則を基本としつつ、安全かつ的確な保管・処理及び処分が確実に行われるよう、高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定、再処理工場の稼働などの核燃料サイクル政策への対応を国が前面に立って着実に取り組むよう引き続き求めること。

(4) 能登半島地震を踏まえて、災害時に必要となるライフラインの充実・強化や備蓄拠点の整備等、複合災害対策に必要な経費について財政措置を講じるとともに、国に対しても財政措置を講じるよう強く求めること。

## 安来インター線の早期完工等について

安来インター線は、安来道路の安来ICと国道9号の接続路線であり、JR山陰本線を高架で通過し、広域ネットワークを形成する骨格道路であるとともに、現状の島田踏切通過を解消し、市東部中海沿岸部の工業団地を結ぶ安来市の交通ネットワークの重要路線です。

また、広域ネットワークとして中海架橋の構想があります。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



(1) 安来インター線の早期完工

(2) 中海架橋建設連絡協議会（事務局：島根県土木部）の開催によるネットワークの現状把握



安来インター線の整備状況

## 小さな拠点を支える県管理道の整備促進について

安来市の中山間地域では、地域ビジョンを作成し、「小さな拠点づくり」を推進しており、令和2年度には島根県が実施しているモデル地区に「比田・東比田」地区が選定されました。

中山間地域で安心して暮らし続けるためには、他地域とのネットワーク網の整備や交通の安全確保が重要であり、道路整備の促進が必要不可欠です。

現在、「小さな拠点づくり」事業に取り組んでいる地区の県管理道改良事業を早期に推進していただくよう要望します。

- (1) 国道432号菅原広瀬バイパス2工区
- (2) (主) 安来伯太日南線 六呂坂工区
- (3) (一) 草野横田線 東比田工区
- (4) (一) 本山伯太線 上小竹工区



(1) 国道432号菅原広瀬バイパス  
2工区



(4) (一) 本山伯太線 上小竹工区

## 自転車歩行者道の整備について

県道広瀬荒島線は、地域住民のみならず、足立美術館をはじめとする観光施設を周遊する観光客の移動路として利用されており、通行量の多い路線となっています。

しかしながら、同路線の一部区間では、歩車分離がされておらず、安全に通行することが困難で、不安視されている箇所があり、道路（自歩道）整備の推進による安全性の向上が急務となっています。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



### (1) 県道広瀬荒島線における自転車歩行者道の整備



県道広瀬荒島線の状況

## 県管理河川の改修促進について

安来市では、平成23年5月の豪雨及び同年9月の台風12号の影響により、市内各所で河川が氾濫し、住宅の床上浸水、農地の冠水、そして一般県道・市道では冠水による通行止めが発生し、孤立した住民の救助活動等を展開しました。令和3年の7月災害等、近年では予測し得ない自然災害が多く発生している状況の中で、住民の安心安全を脅かす事態に対応するため県管理河川の早急な治水、自然災害被害軽減対策が必要と考えています。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



### (1) 吉田川、木戸川、蛇喰川、田頼川、津田平川の改修促進



田頼川の氾濫状況（令和3年）



津田平川の氾濫状況（令和3年）

### (2) 県管理河川の計画的な浚渫



浚渫が必要な河川（安田川）

## 企業立地の推進と雇用対策の強化について

安来市では、若い世代や女性の地元定住に向け、就業の選択肢を広げるべく、製造業だけではなくソフト産業を含めた企業立地にも力を入れながら、既存企業の人材確保に向けた取組も強化しているところです。

そうした中で、島根県には、安来市切川地区において、新たな企業立地に向けた工業用地造成事業など、多大なご支援をいただいています。

その一方で、既存企業の人材確保は、年々厳しさを増しており、地元就職に関する情報発信や取組をさらに推し進める必要があります。

つきましては、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



- (1) 切川地区工業用地造成事業における本市との緊密な連携、協力を引き続きいただくとともに、ソフト産業を含めた企業誘致に向けて引き続き連携をいただくこと。
- (2) 今後、本市として官民連携による市内企業の人材確保対策の取組をさらに強化していくことから、その取組に対して連携・協力をいただくこと。



やすぎ就活スタートガイダンス（合同企業説明会）の様子

## 広域観光及び外国人観光客誘致の推進について

4月から大阪・関西万博が開催されておりインバウンドの広域周遊が見込まれるため、国内外の観光需要を取り込む、より一層の観光誘客対策が必要です。

また、県が実施するプロモーションに併せ、広域観光の推進及び観光客の周遊による消費拡大は重要な取組であることから、観光誘客対策として、次について、格別のご配慮をいただくよう要望します。



- (1) 日本遺産「出雲國たたら風土記」に関わる安来市、雲南市、奥出雲町を連動させた情報発信やツアー造成や、昨年度、安来市において制作したNEO安来節（インバウンドや若者向けコンテンツ）も活用し国内外における認知度向上を図ること。
- (2) FDAの就航先（名古屋・静岡）など新たなマーケットからの誘客及び、大阪・関西万博に来訪する外国人観光客の誘客促進を図るため関西圏でのプロモーション強化を引き続き図ること。
- (3) 外国人観光客の誘致策となる体験コンテンツの充実について、山陰インバウンド機構や中海・宍道湖・大山圏域観光局と一層の連携を図ること。



安来節体験をする外国人観光客